



生活の党と 山本太郎となかまたち

第20号 2015.2

HEADLINES

- ①小沢一郎代表、山本太郎代表 共同記者会見を開催
- ②第189回通常国会に臨む

発行：生活の党と山本太郎となかまたち ■平成27年(2015年)2月10日発行 ■〒100-0014 東京都千代田区永田町二丁目12番8号 永田町SRビル3F ■Tel.03-5501-2200
■Fax.03-5501-2202 ■E-mail: info@seikatsu.jp ■ホームページ http://www.seikatsu.jp



小沢一郎代表 共同記者会見を 山本太郎代表

山本太郎 代表

「生活の党と山本太郎となかまたち」の共同代表をさせていただくことになりました山本太郎です。よろしくお願ひいたします。

無所属でスタートした山本太郎ですが、数があるものを言う政治の世界で、国会で一人でやれること、やれないことを一年半にわたって身を持って経験してきました。一人でやっていくということは発言権がほぼない、機会が限られているということにおきまして、国会の中では事実上、干されているのと同じ状況です。

確かにそれを積み重ねながらやっていく方法もあると思います。しかし、やはり政党という形で、その一員となり発言力を高めていくことで、山本太郎に託していただいた皆さんに、この国に生きるすべての皆さまに対して貢献していきたいという思いがあり、今回二つのグループが一つになって「生活の党と山本太郎となかまたち」という政党をつくることになりました。

<記者からの質問>

Q 辺野古基地移設問題で市民が過激派呼ばわりされ、カブクの排除が続いている。こうしたことが許されるのか。(IWJ)

A 名護市長選、沖縄県知事選、そして先の衆院選の全小選挙区と、民主的な選挙を経て辺野古に基地はつくらせないという民意がはっきりしました。政府はこの結果を経て方針を変更せず、爾々と移設準備を進めています。これはただの暴君で、筋が通らない無茶苦茶な話です。こうした政府に対して、地元をはじめ全国から集まった市民の方々を過激派だというのは当たらないと思います。また、暴力排除も確かにありました。海上保安庁や機動隊は一体誰を守るために仕事をしているのかと憤りを感じます。今後、政治の場でさまざまな意見を交わり、もっと多くの人たちに沖縄の現状を知っていただかなければいけないと思います。

小沢一郎 代表

「生活の党と山本太郎となかまたち」という名称で、新しい政党をつくり上げることになりました。両グループが一緒になって、できるだけ広い形で活動をしていこうという主旨で今回、政党つくことで合意したわけでありました。

とはいえ、小さな政党ですので、議席数に応じた国会の発言の機会ではなかなか多くの場面で与えられないこともあります。しかし、山本太郎さんと一緒にやることによって、国会活動以上に、国民の皆さんとの直接的なつながりをいろいろな形で持つことができれば、議員の人数は少なくても、我々の主張を広く国民の皆さんにお話し、また皆さんのご意見を聞くことができるのではないかと考えています。

こういうことから、「生活の党と山本太郎となかまたち」という政党でこれから活動をしていくことになりましたので、どうか皆様のご理解とご指導をよろしくお願ひいたします。

<記者からの質問>

Q ISILによる人質事件と安倍外交について、今国会でどのような姿勢で臨むのか。(日刊ゲンダイ)

A 人命救助が当面最優先の課題なのは当然です。一方、今回のことが何によってもたらされ、日本は国際紛争の中でどういう立ち位置に立ったのかを議論する事も大事です。これは人命救助とは別次元の話です。安倍首相は訪問地でISILと敵対する国を支援することを表明しましたが、これは国際社会からは有志連合への参加を宣言したとみられて当然です。これにより今後日本でさまざまな事が起きると思いますが、その時にあくまでもアメリカと一緒に有志連合として集団的自衛権を行使するのか、憲法の趣旨である国連を通じて平和活動に協力していくのか。これは日本の将来の大きな分かれ道になるので、国民の皆さんによく考えていただきたいと思います。

生活の党は昨年12月26日、山本太郎参議院議員および「山本太郎となかまたち」とともに政治活動することを確認し、党名を「生活の党と山本太郎となかまたち」に改め新たなスタートを切りました。これを受け、2015年1月27日午後、参議院議員会館で小沢一郎、山本太郎両共同代表が記者会見を行いました。また、これに先駆け1月26日に両院議員総会をもち、役員人事を決定しました。

*なお、このたびのシリアにおける邦人殺害事件について両代表の声明を党のホームページに掲載しております。併せてご覧ください。<http://www.seikatsu.jp/activity/declaration/20150202-2.html>

役員一覧

- 代表 小沢一郎参議院議員
- 山本太郎参議院議員
- 副代表 主濱了参議院議員
- 谷亮子参議院議員
- 参議院政策審議会議長 山本太郎参議院議員
- 参議院幹事長 玉城デニー衆議院議員
- 政策審議会議長 山本太郎参議院議員
- 政策審議会議長代理 主濱了参議院議員
- 玉城デニー衆議院議員
- 国会対策委員長 玉城デニー衆議院議員
- 選挙対策委員長 小沢一郎衆議院議員
- 財務委員長 佐藤公治前参議院議員
- 事務総長 川島智太郎元衆議院議員
- 両院議員総会議長 主濱了参議院議員
- 代議士会長 玉城デニー衆議院議員
- 参議院会長 主濱了参議院議員
- 参議院幹事長 谷亮子参議院議員
- 参議院国会対策委員長 主濱了参議院議員
- 参議院政策審議会議長 山本太郎参議院議員

第189回通常国会に臨む

安倍政権阻止に向かい今国会を全力で闘う

小沢一郎 代表

一強多弱の国会において少数政党が存在感を出していくことは確かに難しい。しかし、我々の思いは強固なものです。

いま、安倍政権のむちゃくちゃな政治を止めなければ、この国は確実に破滅に向かいます。経済面では悪い物価高がますます国民生活を蝕み、外交面では早くもアジア外交を破綻させたうえ、官邸主導のパフォーマンス第一の中東外交で、今や日本国民の生命を確実に危険にさらしてしまいました。ここで声を上げなければ、本当に日本の議会制民主主義は壊滅します。我々は、安倍政権の政治を阻止すべく今国会全力で闘ってまいります。



この国に生きる人々のため全力で挑みます

山本太郎 代表

安倍政権の人質奪還の失策を、正面切って問いつめられないなら、野党なんてヤメちまえ！状態の国会に政界の裏も表も知り尽くした、小沢一郎さん。

地方の実情を国会に届けるスペシャリスト、主濱了さん。沖縄問題から世界情勢まで網羅する、玉城デニーさん。法務に燃え、文教に輝く、谷亮子さん。

新しく加わった、山本太郎が、この国に生きる人々の生活が第一！の政治を実現する為、全力で挑みます。

よろしくお願ひいたします。



沖縄基地問題解決に真摯に取り組んでいく

玉城デニー 幹事長

先の第47回総選挙で「米海兵隊普天間基地の辺野古移設反対」を訴え、沖縄3区で3期目の議席を得ることができました。

国土面積0.6%の沖縄に74%もの米軍基地が今なお置かれ続ける被害の深刻さ、特に自分の選挙区に集中する基地の実態を明らかにし、県民が反対する米軍基地建設押し付けの政府対応を追及していく姿勢を改めて決意しました。

弱い立場にある方が政治に見捨てられてはならない。小さな国民の声が大きな集団の声にかき消されてはならない。自ら足を運びそこで起こっている事実と心と目と耳を傾けて、問題解決のために真摯に訴え行動してまいります。



「国民の生活が第一」の政治実現に向け邁進

主濱了 副代表

昨年の総選挙では皆様のご支援をいただきながら誠に残念な結果になってしまいました。力不足をお詫び申し上げます。

野党の敗北により今国会も安倍政権は「白紙委任」を得たかのごとく、山積した問題に見向きもせず、自身のやりたい政策だけをどんどん進めていこうとするでしょう。日本の進むべき方向を誤らせないように、しっかりと監視し、安倍政権に対峙してまいります。

私の基本姿勢である「誠意、努力、感謝」そして「初心忘るべからず！常に原点に戻るべし！」を心に国民の生活が第一の政治を引き続き目指し、今国会も果敢に臨んでまいります。



生活の党と山本太郎となかまたちは、機関紙以外にもメルマガをはじめfacebookや動画、Twitterなどのソーシャルメディアで積極的に情報を発信しています。

生活の党と山本太郎となかまたちホームページ <http://www.seikatsu1.jp>



生活の党と山本太郎となかまたち

法務／ODA 両委員会で積極的議論に臨む

谷亮子 副代表

第189回通常国会において、法務委員会および政府開発援助等に関する特別委員会で活動してまいります。

法務委員会では、継続法案となっている船舶所有者責任法改正案、裁判員裁判法改正案の審議をはじめ、法務行政をめぐるさまざまな課題について政府を問いただしてまいります。

また、政府開発援助等に関する特別委員会では、我が国が行う政府開発援助（ODA）が、国際社会の平和・安定と繁栄の確保に向けて、これまで以上に貢献していくものとなるよう、委員会での議論に臨んでまいります。

